

## 2024年度第1回教育課程編成委員会 議事録

1) 日 時：2024年7月16日（火） 15時00分～16時00分

2) 場 所：応接室

3) 出席者：外部委員

委 員 澤村 有利生 社会福祉法人 長門市社会福祉協議会 常務理事

委 員 阿部 誉久 山口商工会議所 広域ビジネスサポートセンター長

本校教職員

校 長 中川 達也

副校長 河津 道正

教務課長 田中 秀樹

事務長 日當 泰浩

公務員総合学科学科長 青木 敏春

公務員学科学科長 橋口 浩太

公務員総合学科1年担任 田村 天人

4) 次 第：

(1) 校長あいさつ

(2) 配布資料等確認

①学校パンフレット

②募集要項

③学生便覧

④社会人基礎力講座概要

(3) 本校の取り組み状況説明

①公務員総合学科1年の状況

<田村先生>

昨年度まで様々な公務員の仕事を見学して進路を決める活動を行ってきた。今年度は入学後アンケートを取って希望に合わせて見学先を決めている。また、インターンシップ推進協議会と連携して学生の希望に合わせたインターンシップ先を提供している。新しく山口県障害者スポーツ協会と連携して通年でボランティアを募集している。

筆記試験対策では、模試の復習ノート作成→チェックを毎週実施することで学習習慣の定着と理解度の向上につながっている。Webトレーニングは課題として実施、間違えた問題のジャンルの複数を繰り返し実施している。

## ②公務員総合学科2年の状況

### <青木学科長>

総合1年生の時点で、様々な公務員の仕事を知る機会を提供したうえで今年度は受験先を決めるための職業理解ガイダンスを多く実施している。公務員就職準備研修での模擬面接をビデオ撮影→学生が見直しできるようにした。公務員職種研修で希望自治体について職業理解を深めるための調べ学習を実施。総合1年生で作成した面接カードのブラッシュアップを図っている。卒業研究の授業時間数を増やして、質疑応答できる時間を増やして、ディプロマポリシーを達成するために重要な時間であるため公務員に就職する前に専門学校で学生の成長を図りたい。

## (4) 意見交換

### <田村先生>

検定試験については、昨年度は3級の合格率は80%以上を達成している。2級の合格率を上げるための対策が課題である。授業が3級に合わせて授業を実施しているので個別対策ができるか。合格率が低くなっている検定は後半に回して学習時間を確保するようにしている。電話対応検定について昨年度話が出ていたが、授業の日程や公務員試験の日程が重なっているので、検定は実施しない。代わりに社会人基礎力向上講座を実施予定である。実際にやってみて意識が変わり、身なりを整えて登校するようになった。

### <青木学科長>

総合2年生の受験時期が1年生で勉強してから半年以上期間が開いているので知識や技能が薄くなっている。

### <澤村委員>

TPOは大切だと感じる場面は多くある。自分で想像してどうすればいいか常に考えるべき。社会人になってから教えられるわけではないので、専門学校で教えてもらえるのはいい。相手が不快にならない身なりと服装が大切だと思う。

### <阿部委員>

検定試験の受験は、自分にとってなぜ必要なのかを考えて受験させることが大切。

### <河津副校長>

日商PC検定は、現場で役に立つかもしれない。合格率が低い検定を変更するか、合格率を上げるためにどうするかが課題。2年以内に私学法→大学同様に完全単位制になるので、今後教育課程の見直しが入る予定。(例：山大の授業を受ける→YICの単位にできる)年度末の教育課程では新しい教育課程をご提案したい。

### <日當事務長>

選択科目は学生が選べし、動機付けが難しいと感じている。問題解決能力をどうするかがポイ

ント必要性を感じないのであれば、簿記を変更してもいいのではと考えている。

<澤村委員>

税務職員や市民税課以外では必要ないが、配属が決まるまでわからない。確定申告の際には直接的に役に立たないが、行政としては会計事務として知識として知っておくと理解できる。実際の国税・県税・市税の計算をさせると意識付けできるかもしれない。

<日當事務長>

簿記より、会計事務（原価計算）の勉強はいいかもしれない。

<田中教務課長>

長い人生を考えたとき、社会人になってから勉強するのは大変。

<阿部委員>

会計事務、チェック・修正は必ずしなければならない。基礎知識があるとないとでは雲泥の差がある。今後10年～15年はまだ必要だと思う。3級レベルが取れば、最低限の知識は身につけているので十分。2級が取れば、なおよしレベル。

<澤村委員>

インターネット検定とは？

<河津副校長>

3級自宅インターネット回線、2級会社のインターネット回線、1級プロバイダー回線で何かあったときに対応ができるかどうかを見られる。

<澤村委員>

デジタル庁が宣言して、専用の課のデジタル化は進んでいるがそれ以外は進んでいないのが現状。課題を解決するのにAIが使えると評価は上がると思う。自分も教えてほしいぐらい。また、山口県障害者スポーツ協会のボランティアについて最初は抵抗があるかもしれない。障害者と頻繁に接していると抵抗はなくなる。抵抗があるのは最初だけ。関心があればぜひ参加してほしいと思う。最初はボランティアでもいずれは障害者スポーツの審判や指導者になって社会人になってからも日常的にライフワークでも取り入れてもらいたい。期待している。

## (5) 連絡事項

本年度第2回委員会は、2月～3月頃開催予定（開催日時は調整の上決定）